

第3期三朝町まち・ひと・しごと創生推進会議（概要）

日時：令和7年2月21日（金）

10:00～11:00

会場：三朝町役場第2会議室

1 開会

2 松浦町長あいさつ

3 自己紹介

4 議題

- (1) 第2期総合戦略重要業績評価指標検証状況等報告 資料2・別表
- (2) 第3期総合戦略概要説明 資料3・別表 資料4
- (3) その他トピックス 資料5
- (4) 意見交換

【2期戦略検証報告及び3期戦略概要説明】

- ・第2期総合戦略の総括として、以下の5つの成果を報告した
 - ①観光振興：日本遺産の再認定による観光資源の強化。
 - ②デジタル基盤整備：ケーブルテレビの光化による情報インフラの強化。
 - ③教育環境の整備：三朝小学校の新校舎完成による教育の充実。
 - ④健康まちづくり：温泉を活用した町民の健康促進と観光振興の連動。
 - ⑤災害対応力の強化：頻発する自然災害への備え。
- ・人口減少については、出生数の減少、社会減少の進行が深刻であり、特に農業従事者の減少が町の基盤に大きな影響を及ぼしている可能性が指摘された。
- ・第3期総合戦略では「笑顔と元気が溢れるまち」「デジタルで豊かな三朝暮らし」を基本方針に掲げ、国の「地方創生2.0」の方針（地方分散、デジタル活用、新しい地方経済の創生など）を踏まえた計画づくりを進めていく方針を説明した。

【福田委員】

- ・コロナ禍の商工業への打撃は、これまで経験したことのないものだった。
- ・そのような中でも皆で力を出し合い、事業所数の増加率、新規創業の増加率は県内でも高い率を維持している。
- ・今後も引き続き、町の創業支援策と商工会での伴走支援に力を入れてサポートしていく必要がある。

【山本委員】

- ・ 2030 年の農業従事者の大半が後期高齢者と予測する。
- ・ 将来的には、現状の農地面積の半分くらいをどのように守っていくか考えていく必要がある。

【加藤委員】

- ・ 荒廃農地、荒廃林地の増加が危惧される。
- ・ 森林を守り温暖化防止に貢献することが役割である。
- ・ 町独自の資源と森林を活用し、交流人口の拡大に努めていただきたい。

【高見委員】

- ・ 地域協議会が設立されて、約 20 年経つが地域によって人口減少・高齢化の差が大きくなっている。
- ・ 住民の考え方も多様化し、これまでのやり方を続けるのか考えるタイミングになっている。
- ・ 地域協議会の在り方検討を進めているので、戦略の中でも反映していただきたい。

【松浦委員】

- ・ コロナ禍が明け、学校の取組に地域の方に入っていただく機会が増加している。
- ・ 小学校、中学校のキャリア教育の中で地元を知ってもらい、将来も住みたいと思ってもらえるようにつなげていく必要がある。

【岩崎委員】

- ・ 旅館業は、宿泊者数がコロナ前の 90～95%まで回復、売上ベースでは 100%を超えているが、物価高や人件費が絡んでいる。
- ・ 各旅館が持つポテンシャルは生かし切れている状況ではなく、課題もある。

【荻原委員】

- ・ 大学等の進学で県外を選ぶ若者が多い現状にある。そうした若者を対象とした情報発信に力を入れる必要がある。
- ・ 町の強みを大々的に PR していくことが効果的。

【中嶋委員】

- ・ 情報発信を行う事業者として、三朝町と一緒にできるような提案をしたい。
- ・ 小学生を対象とした社会科見学などを通して、情報発信分野の職種に触れる機会を提供していきたい。

【小谷代理】

- ・直近で日銀による政策金利が上がったことに伴い、預金金利なども増加している。新規創業を考える方には影響がある。
- ・行政として、新規創業を希望する方への情報発信委力を入れていただきたい。

【塩谷委員】

- ・多くの学生が将来的に地元に戻りたいと思っているのだから、一番重要な仕事の部分で対策をする必要がある。
- ・若者がわくわくを感じられるような夢のような話を真剣に考えてみてはどうか。

【蛸積委員】

- ・町が抱える課題に対して ICT を活用した課題解決に力を入れている。
- ・グループ会社が運営するサービス等もご案内できるので、提案をさせていただく。

【三沢委員】

- ・学生たちの声を聞くことで求められる職場環境と現状の課題ギャップを埋めることができるかもしれない。
- ・DX は、重要な分野であるが何を目的としてどのような業務に活用するのが効率化には一番重要。
- ・若者は、わくわく感や面白さを求めている傾向にあるので、ヒアリング調査等協力させていただく。

【岸田コンシェルジュ】

- ・皆さんの意見の中でやはり「仕事」の創出の必要性を感じた。
- ・統計の数字によると三朝町は、従業員 1 人あたりの製造品出荷額が県内最下位ということで、企業誘致は今後力を入れる必要がある。

【松浦町長】

- ・三朝町はもちろん、中部圏域、県内を含めた就労環境や学びの環境、今あるものの情報発信に力を入れる必要がある。
- ・デジタル化は重要なツールであるが、人のつながりがあってこそデジタル化が生きることだと考えるので、こうした意見を踏まえた計画づくりを進めていきたい。